

こぶしだより

Vol.370

2015・7・19 発行



【400字で語る福祉③】

「思った通り、福祉は厳しい。でも面白い」



◎高田 江里さん
(県東LSC真岡 支援員)

「福祉は厳しい」大学時、実習先の児童相談所職員から言われた言葉である。その頃門外漢であった私は大して深く考えず、福祉の世界に入ることなどないだろうな、と思っていた。そんなこんなで紆余曲折、福祉に入ってみて現在はどう思うかと聞かれたら、やはり「厳しい」と思う。

新聞やニュースをちらちらと見てみても、福祉を取り巻く状況は大変だ。お金という意味でも、人材という意味でも、福祉の職に就いてみてまだヒヨコ子の私でも、そういう雰囲気は感じられる。しかし「厳しい」けれど、「大変」だけど、「楽しさ」が無いわけではない。日々過ごしていると「楽しい」と思う場面、「面白い」と感じる光景に出会う時がある。時折、この厳しい中で良く働けるなあ、と自分自身思う時がある。しかしながら、その楽しさを味わってしまった。厳しい中でもその味に飽きるまで、しばらく福祉の職に就いていたい。と思う今日この頃。

●平成 26 年度事業報告・決算… 2 - 5

●400字で語る福祉

③②高田 江里(県東LSC真岡) ③③小山田 里美(検討LSC真岡) …1, 2

●食道さんぽ

【けやき作業所 にここパン屋さん】 … 6 - 7

●報告 法人本部、第2けやき作業所 … 8

●ギャラリーこぶし… 9

●こぶしづかん… 10

●連載【社会モデルを地域文化に⑩】…11

●事業所一覧 ●ちえぶくろう…12



平成26年度 【事業報告】 のポイント

「一人ひとりが人間として尊重され、 活き活きと働き、活動できる 組織と地域」への取り組み

1 障がい児・者のねがいを実現する

外部から講師を招き事例検討を行ったり、法人職員が社会福祉主事任用資格の取得を目指す自主研修を企画するなど、地域の垣根を越えて支援力の向上に取り組んだ。

2 ねがい・ニーズにこたえる支援と事業づくり

上三川地区での放課後等デイサービスの準備、法人としての新規プロジェクトであるカレッジPJ等の事業は着実に進捗し、上三川地区では今年度から放課後等デイサービスの新規事業を開始することができた。一方で、昨年度中に第2けやき作業所の芳賀町への移転が完了できなかつた課題も残り、法人としての法令遵守の管理体制と目標を実現する実行・組織管理体制の脆さが浮き彫りとなった。

3 共生の地域社会を共に作る取り組み

これまで、法人の無認可時代から共同して活動してきた家族会、後援会との目指すところの共有化を図っていくという点では、これまでの職員教育の問題、支援力の不十分さが問題となり、改めて事業所単位の運営ではなく地域連携を強めながら、事業所を活かす運営に変えて

いくことが、法人を支える会（仮称）の発足に向けて求められているものとなる。

4 職員の働きがい、生きがいづくりを進める

専門職集団としての力量を発揮するため、新任職員研修、管理職研修、社会福祉主事研修等に計画的に取り組むことができた。

5 政健全化と経営基盤づくりの取り組み

法人事務局と法人事務センターの役割分担を明確にし、事業計画との整合性のある総務・予算管理と適切な情報管理を行い、両者の連携強化をすすめたが、各事業所とのパイプを強くする体制の検討は現在も改革途中である。

6 事業計画を推進し、活気ある組織づくり

事業所完結型から地域ネットワーク組織のあり方を検討し、法人と事業所の権限の明確化を行うなど、適時見直しを図ってきているが、横断的な動きと合意形成の仕組みについては未だ不十分さを残している。一方で、決める組織、実行する組織への転換を行うためにも、次世代を担う各地域の幹部育成が急務である。危機管理は利



400字で語る福祉③

◎小山田里美さん（県東LSC真岡 支援員）

地域で豊かに暮らす理想のために、必要です

私が考える福祉とは、障害のある人もない人も互いに支え合い、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていけることが理想である。

社会は機能障害や能力障害があることなどを理由に障害者の社会レベルの希望（教育、就業、余暇活動、居住など）を受け入れないことがある。障害者の努力だけではどうにもならないことがある。障害者にも社会的活動の参加や自由な生活環境が整えられることが望ましい。

障害者の就労支援に関しても障害者の雇用の問題が表面化している。障害の内容やその程度状態によって就労の不利や制約を受けることもある。そうしたことに配慮した就労支援と職場環境の整備が必要である。また、地域生活を送るための支援をきめ細かく行なうために入所、入院中から住居や日中活動場所の確保や地域生活後の連絡相談等のサポート体制の整備など、地域での定着支援体制の充実が必要であると考えている。

用者の求める支援の視点から検証し、体制を見直し、権利擁護の仕組みにつなげていきたい。

まとめ

法令遵守システムの構築と目標を実現する実行・組織管理体制の整備に取り組み、財政基盤を安定させ、事業経営の統治機能を強化することが急務である。（菊地）

平成26年度貸借対照表総括表

平成26年4月1日～平成27年3月31日

（単位：千円）

科目名称	決算額	前年度末	増減	科目名称	決算額	前年度末	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	491,524	394,065	97,459	流動負債	304,123	219,323	84,800
小口現金	692	613	79	買掛金	6,456	8,114	-1,658
普通預金	118,220	106,078	12,142	事業所借入金	81,775	0	81,775
売掛金	5,207	5,107	100	未払金	213,243	208,953	4,290
商品・製品	7	9	-2	預り金	45	1,931	-1,886
原材料	506	571	-65	前受金	102	325	-223
未収金	273,084	279,155	-6,071	仮受金	2,502	0	2,502
貯蔵品	307	352	-45				
立替金	9,963	0	9,963				
前払金	1,746	2,180	-434				
事業所貸付金	81,775	0	81,775				
仮払金	17	0	17				
固定資産	641,412	670,606	-29,194	固定負債	103,044	125,226	-22,182
基本財産	528,142	554,038	-25,896	設備資金借入金	59,946	70,794	-10,848
建物	372,763	391,273	-18,510	長期運営資金借入金	17,474	27,482	-10,008
建物付属設備	61,769	69,155	-7,386	退職給与引当金	25,624	26,950	-1,326
土地	93,610	93,610	0				
その他の固定資産	113,270	116,568	-3,298	負債の部合計	407,167	344,549	62,618
建物	9,313	9,953	-640	純資産の部			
建物付属設備	14,658	15,788	-1,130	基本金	197,915	197,915	0
構築物	208	279	-71	基本金	197,915	197,915	0
機械及び装置	9,863	11,874	-2,011	国庫補助金等特別積立金	337,348	365,271	-27,923
車輛運搬具	10,504	11,971	-1,467	国庫補助金等特別積立金	337,348	365,271	-27,923
器具及び備品	13,578	13,160	418	その他の積立金	19,566	16,877	2,689
権利	959	982	-23	設備整備等積立金	1,996	588	1,408
ソフトウェア	943	180	763	建設資金積立金	6,671	6,671	0
設備整備等積立預金	1,996	588	1,408	移行時特別積立金	6,645	6,645	0
建設資金積立預金	6,671	6,671	0	授産移行時特別積立金	1,664	1,664	0
移行時特別積立預金	6,645	6,645	0	修繕積立金	1,309	1,309	0
授産移行時積立預金	1,664	1,664	0	工賃変動積立金	1,281	0	1,281
工賃変動積立預金	1,281	0	1,281				
修繕費積立預金	1,309	1,309	0				
共済財団退職金預け金	25,624	26,950	-1,326	次期繰越活動収支差額	170,940	140,059	30,881
預託金	54	54	0	次期繰越活動収支差額	170,940	140,059	30,881
投資有価証券	8,000	8,500	-500	(うち当期活動収支差額)	33,572	31,509	2,063
				純資産の部合計	725,769	720,122	5,647
資産の部合計	1,132,936	1,064,671	68,265	負債及び純資産の部合計	1,132,936	1,064,671	68,265

平成26年度事業活動収支計算書(総括表)

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位:千円)

活動区分・科目		会計区分	決算額	法人本部	就労支援会計	一般会計	公益事業会計
就労支援事業活動による収支	収入	就労支援事業収入計	80,919	0	80,919	0	0
	支出	就労支援事業支出計	79,425	0	79,425	0	0
		就労支援事業活動資金収支差額	1,494	0	1,494	0	0

福祉事業活動による収支	収入	自立支援費等収入	563,678	0	445,793	117,885	0
		補助事業等収入	75,656	1,945	7,820	33,334	32,557
		その他の事業収入	0	0	0	0	0
		寄付金収入	3,718	479	3,239	0	0
		雑収入	9,628	729	6,891	2,008	0
		引当金戻入	6,430	0	5,246	1,178	6
		国庫補助金等特別積立金取崩額	25,255	2,719	21,300	1,236	0
		福祉事業活動収入計	684,365	5,872	490,289	155,641	32,563
	支出	人件費支出	429,758	30,837	249,679	122,254	26,988
		事務費支出	105,221	21,874	61,569	15,170	6,608
		事業費支出	75,740	73	40,221	35,446	0
		減価償却費	35,650	3,886	27,983	3,781	0
		引当金繰入	4,036	374	2,358	1,040	264
		福祉事業活動支出計	650,405	57,044	381,810	177,691	33,860
	福祉事業活動収支差額	33,960	-51,172	108,479	-22,050	-1,297	

事業活動外収支	収入	借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0
		受取利息配当金収入	28	7	16	3	2
		会計単位繰入金収入	32,290	1,789	0	29,206	1,295
		経理区分間繰入金収入	113,773	113,773	0	0	0
		事業活動外収入計	146,091	115,569	16	29,209	1,297
	支出	借入金利息支出	1,909	687	542	680	0
		会計単位間繰入金支出	32,291	30,502	0	1,789	0
		経理区分間繰入金支出	113,773	12,141	101,632	0	0
		事業活動外支出計	147,973	43,330	102,174	2,469	0
		事業活動外収支差額	-1,882	72,239	-102,158	26,740	1,297
	経常経費収支差額	33,572	21,067	7,815	4,690	0	

特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0
		施設整備等寄付金収入	0	0	0	0	0
		過年度減価償却超過額	0	0	0	0	0
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	0	0
	特別収入計	0	0	0	0	0	
	支出	基本金組入額	0	0	0	0	0
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0	0	0
		固定資産売却損・処分損	0	0	0	0	0
特別支出計		0	0	0	0	0	
	特別収支差額	0	0	0	0	0	
	当期活動収支差額	33,572	21,067	7,815	4,690	0	

繰越活動収支の部	前期繰越活動収支差額	140,057	78,178	74,756	-13,401	524
	当期末繰越活動収支差額	173,629	99,245	82,571	-8,711	524
	基本金取崩額	0	0	0	0	0
	基本金組入額	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額	0	0	0	0	0
	その他の積立金積み立て額	2,690	0	2,690	0	0
	次期繰越活動収支差額	170,939	99,245	79,881	-8,711	524

平成26年度資金収支計算書(総括表)

平成26年4月1日～平成26年3月31日

(単位:千円)

活動区分・科目		会計区分	決算額	法人本部	就労支援会計	一般会計	公益事業会計
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入計	80,919	0	80,919	0	0
	支出	就労支援事業支出計	79,316	0	79,316	0	0
		就労支援事業活動資金収支差額	1,603	0	1,603	0	0

福祉事業活動による収支	収入	自立支援費等収入	563,678	0	445,793	117,885	0
		補助事業等収入	75,656	1,945	7,820	33,334	32,557
		その他の事業収入	0	0	0	0	0
		寄付金収入	3,718	479	3,239	0	0
		雑収入	9,628	729	6,891	2,008	0
		借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0
		受取利息配当金収入	28	7	16	3	2
		会計単位間繰入金収入	32,290	1,789	0	29,206	1,295
	経理区分間繰入金収入	113,773	113,773	0	0	0	
	福祉事業収入計	798,771	118,722	463,759	182,436	33,854	
	支出	人件費支出	429,758	30,837	249,679	122,254	26,988
		事務費支出	105,221	21,874	61,569	15,170	6,608
		事業費支出	75,740	73	40,221	35,446	0
		借入金利息支出	1,909	687	542	680	0
会計単位間繰入金支出		32,291	30,502	0	1,789	0	
経理区分間繰入金支出		113,773	12,141	101,632	0	0	
福祉事業支出計	758,692	96,114	453,643	175,339	33,596		
	福祉事業活動資金収支差額	40,079	22,608	10,116	7,097	258	

施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0
		施設整備等寄付金収入	0	0	0	0	0
		施設整備等収入計	0	0	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	8,304	0	7,117	1,187	0
		元入金支出	0	0	0	0	0
		施設整備等支出計	8,304	0	7,117	1,187	0
	施設整備等資金収支差額	-8,304	0	-7,117	-1,187	0	

財務活動による収支	収入	借入金収入	0	0	0	0	0
		投資有価証券売却収入	500	500	0	0	0
		その他の収入	6,430	0	5,246	1,178	6
		財務収入計	6,930	500	5,246	1,178	6
	支出	借入金元金償還金支出	20,856	10,008	4,800	6,048	0
		積立金積立支出	2,690	0	2,690	0	0
		その他の支出	4,036	374	2,358	1,040	264
		財務支出計	27,582	10,382	9,848	7,088	264
		財務活動資金収支差額	-20,652	-9,882	-4,602	-5,910	-258
		予備費	0	0	0	0	0

当期資金収支差額合計	12,727	12,727	0	0	0
前期末支払資金残高	174,161	68,462	98,151	7,024	524
当期末支払資金残高	186,888	81,189	98,151	7,024	524

久々にけやき作業所の「にこにこパン屋さん」を訪ねてきました。こぶしの会最初のパン屋さんで、今年18年目を迎える老舗です。

創業当時の製法を守りつつ、新しいパンへの取り組みにも積極的でした。製造工場に直接突撃してきましたので、作業中の雰囲気もパンの魅力と一緒に伝えしませう。



◎にこにこパン屋さんのこだわり

パンの生地はきちんと粉から作って、つまり業者の冷凍生地は使用していません(スゴイでしょ!)。おいしいと大好評です。「販売に来る日が待ち遠しい」とのお声もいただいております。

◎由水職員 おすすめの食パン!!

食事系パンの代表「食パン」は見た目こそふつうですが、どこか素朴で飽きのこない味。毎日でも食べたい逸品です。もっと売れるといいな〜



食道さんぽ

けやき作業所

にこにこパン屋さん

(けやき作業所内)
芳賀町祖母井 2244 TEL 028-687-1040
FAX 028-677-5789 注文承ります。



◎おかずパンは、厨房班とのコラボ商品です

チリからドックのから揚げも、チーズバーガーのハンバーグも厨房班の自信作です。パンとの相性も良く、味付けも絶妙なので、見た目のボリュームに圧倒されながらも、ペロリと食べられてしまいます。写真奥のチリからドックは200円、写真手前のチーズバーガーは250円です。チーズバーガーは益子芳星高校用の限定商品ですが、リクエストをいただければお作りすることも可能です。



追伸 : 星宮のつけたし

◎100円のあげぱんをさらにアレンジしてみた。

★あげぱんをトースターでカリッと焼く。★バニラアイスを添える。★お好みでメープルシロップ(チョコレートシロップや、イチゴのジャムなどでも美味しいです)をかける。
☆☆これが私のちょっとおいしいアレンジレシピです。アツアツをハフハフしながら召し上がれ(´▽`)

店舗を持たない
にこにこパン屋さんですが…
出張販売で飛ぶように
売れているんです。



◎パンが買えるところ

■移動販売 / お屋時にあわせて、けやき作業所の利用者と職員が直接販売にうかがいます。

- ・市貝温泉
- ・芳賀町役場
- ・益子芳星高校
- ・農業大学校

■委託販売先

- ・サシバの里いちかい(市貝町:道の駅)
 - ・友遊はが(芳賀町:道の駅)
 - ・たいらや芳賀店(食パンとラスク)
 - ・真岡井頭フレッシュ直売所
 - ・芳賀海洋センター
 - ・真岡市のセルフ・みらい(県健康福祉センターなど)
- ※この他にもイベント時の注文販売や、保育園のおやつ用ミニパンも扱ってます。

No.363で紹介させていただいた「龍の日光彫」の作者、松枝さんに影響を受けて作りだしたと語る、上三川ふれあいの家ひまわりの加藤昭彦さん。「すごく緊張してます」と言いながら取材に応じてくれた加藤さん。見せてくれたのは、ふくべ(かんばん)のような実を乾燥させたもの(を彫って色付けをしたキャラクターの数々。コマさん、ダークニャン、ジバニャンという『妖怪ウォッチ』のキャラクター、愛媛・今治市のゆるキャラ・バリイさん、ティディベア・テッドなど...)。(個人的にはバリイさん推しです!)
まずは下書きして、彫ってから色を塗るといのが大まかな工程で、1つを作るのに5日間ほどかけているそうです。
彫刻刀で手を切ったりすることもあるので彫る時は大変ですと苦勞を語ってくれましたが、その甲斐あって師匠(?)松枝氏とはまた違った魅力のある、味わい深い作品に仕上がっています。まだまだ他のマンガのキャラクターなどやってみてみたいと話していた加藤さんの次回作に期待です。今回掲載の作品を見たい方は、ぜひともひまわりまで! (松本祐一)



悔しさを胸に、
目指すは優勝

真岡3事業所合同フットサル練習会...
...気合は入りました!



前 号の報告記事で、フットサル大会の紹介をさせていただきました。ご承知の通り、我がチャレンジャーチームは参加2チームが逆ワンツーフィニッシュという惨敗ぶり。
あの屈辱から約半年。これではいかん! と5月2日(土)、真岡3事業所合同の練習会を行いました。
今回は本気で勝ちに行く! 優勝を狙う! とのW所長の言葉のもと(なぜか野球に興じるメンバーも相当数いました)、試合形式をメインにして練習をこなしました。普段皆が集まっていた練習がなかなかできないこともあり、初めは動きも硬くミスも多く心配でしたが、プレーを重ねるにつれてチームとしての動きもできてきました。平均年齢??歳の職員チームを圧倒するプレーも見せてくれ、自信をつけたようでもありました。
闘えるメンバーが揃い、いざ決戦! 練習の成果やいかに...と、結果もお知らせする予定でしたが、なんと諸事情により大会が延期。締め切りの都合により、次号でのお知らせとなりました。乞うご期待! (松本祐一)

第2
けやき
作業所



パンク修理 100円

...ただし、けやき作業所、第2けやき作業所、秋桜、けやきハイツ限定

第2けやき作業所のメール便班は、作業所の和室で作業しています。芳賀、市貝の広い範囲を配達しているので自転車の故障が絶えません。それらの故障を一手に修理しているのが印南一樹さんです。特にパンク修理が得意。

実は以前からやっていたんですが、今回改めて紹介します。

メール便の作業もあるので、近くの人限定になってしまいますが、自転車修理でお困りの時は相談してね。(北川忠明)

報告

法人本部
事務局

本部でボランティアしてる
井内さん。よろしく!

シルバー大学の紹介で4月から事務作業のボランティアをしている井内輝三さん。

取材の日は高橋常務と一緒に連絡先のファイルの整理の真っ最中でした。なかなか慣れないとはおっしゃっていましたが、高橋常務とPC作業をされる姿はとても周囲になじんでいて、井内さんの人柄の穏やかさが感じられました。

これからも、よろしくお願いいたします。(北川)



上三川
ふれあいの
家
ひまわり

アクセスしてね!! <http://www.kobusi.or.jp/himawari/>

「上三川ふれあいの家ひまわり」のホームページが開設されました。不慣れなため、更新がとても遅いですが、なんとか慣れて色々な情報を発信しますので、ご期待下さい。(牧岡)



【こぶしづかん=辛夷図鑑】こぶしの会に生息するゆかいな職員のおすすめの本を毎回ご紹介。



生きる事に対して気が楽になります。

読書と絵を描くことが趣味という県東ライフサポートセンター真岡の高田さん。おすすめ本は、森絵都さんの著作「カラフル」。17年程前に書かれた本ですが、今も読まれている傑作です。



高田 江里
県東ライフサポートセンター真岡 支援員

本の内容は、生前の罪により輪廻のサイクルから外されてしまった主人公の魂がひょんなことから再びサイクルに戻るチャンスを得るところから始まります。物語では、人や世の中を色に例えた話が出てくるのですが、高田さんいわく、「カラフル」という題なのに、表紙の色が黄色というギャップを考えたり、この表紙の黄色は誰のどんな時の色か？自分は今何色に表現できるか？を考えながら読んでも面白いとのこと。う～ん。心理学を学んだ高田さんらしいですね。ちなみに「カラフル」の意味は本を読むうちに分かってきますが、きれいな色とは限らないようです。自分や他人の欠点に目が行きがちになった時、読んでみると良いかもしれませんね。



カラフル
●森絵都 / 著
●文春文庫 / 551円 (税込)

私は心に寄り添います

昨年10月にセルフ・みらいに配属になった白石さん、紹介する本は「筆談ホステス・67の愛言葉」です。以前、グループホームの世話人から仕事していた時に書店で目に留まり購入したそうです。著者の斉藤里恵さんは幼いころに病気の後遺症で聴力を失いながらも、その巧みな筆談で銀座ナンバーワンホステスになられた方です。この本の中に出てくる言葉は、齋藤さんがお客さんとの筆談で実際に使われた言葉であり、それだけに重みと面白さのある言葉が選ばれています。それぞれの言葉についてその場面が描かれているのでスルスル読める本です。さて、この本の言葉の中で、一番のおすすめ言葉を尋ねると「相手の心を想う。思うのではなく、想ってあげてください。こちら心も大切にしてください。聞くのではなく、心を込めて聴いてください」とのこと。支援員という仕事は利用者の心に寄り添うことが大切であり、この言葉の内容が参考になるのではないのでしょうか。



白石 裕一
セルフ・みらい 支援員



「筆談ホステス 67の愛言葉」
—青森一の不良娘が銀座の夜にはぐくんだ魔法の物語—
●斉藤里恵 / 著
●光文社 / 1,080円 (税込)

なるのか。路上生活者が段ボールの中からぼそぼそと発した言葉は、「いつ襲われるかわからないのでぐっすりとお眠ることができない。特に雨の日は傘で突然突かれるのが恐ろしい」。

無職、疾病どころではないのだ。そんな地域の障がい者の駆け込み寺的なグループホームの運営は厳しすぎる。少子高齢化時代の老々介護や親子後の最後の安心を保障する制度にもかかわらず、この場を維持していくには、制度的、つまり財政的、つまり、人的体制を創るしくみがいまもって不備である。制度欠陥は関係者や市民の知恵と力をより合わせ、当面解決していくしか方法はない。

ちなみに、本来の利用対象でない児童をふくめ家族でくらすしているグループホームがもう一つある。その家族の物語もわたしの時間の中に繰りこまれ、新たな彩りを増やしている。グループホームの経営努力も市民の地域文化・制度として織り重ねていきたいものだ。

福祉はいつも、せっぱつまって待ったなしの解決せねばならない課題。 人間が居住する場を持たなかったらどうなるのか、 厳しい制度状況下で求められる グループホームの運営と「暮らし」



社会モデルを地域文化に (連載第18回)

高橋温美 (こぶしの会常務理事)

の力を集め、行動しなくてはそれは増々貧しいものになってしまうことになる。

こぶしの会のグループホームは平成11年10月1日、けやき作業所開所1年後にはやくも芳賀町で開設し、今年で16年もの歳月を積み重ねている。その第1号はけやき作業所まで歩いて通える場所にある一軒家であった。過去形なのは、今は廃屋になっているからである。愛称は「すずらんの家」。いまは名称も変わっている。これは利用者たちが名付けた。家の周りにすずらんが咲き誇っているわけでもない。いまもって不可解な命名だ。現在は、祖母井の町の中に、大家さんのご厚意で新築、移転し快適な居住空間となっている。

制度の壁を、願いと想いと協力で越える

このグループホームの設置の経緯は今も入居してきた当事者たちの表情とともに覚えていて。記憶というのは何度も感情移入をしながら行動した事柄が、その後の時と経験の大きな流れに抗って形を少しずつ変化させながら中洲のように残っているものではないだろうか。

その時の第一号の入居者Tさんが先日亡くなった。享年73歳だった。当時、彼女はお子さんとともに新設グループホームに入居した。設置目的はお父さんの死による親

子の生き別れを防ぐことだった。近くの入所施設に問い合わせたが、2人一緒に利用できる空き室はなかったのだから。また、当時のグループホームは一般就労(作業所利用でなく企業に就職)している知的障がい者の利用のみが可能な制度だった(1992年からは精神障がい者の制度が発足)ので、グループホーム利用者の働く場として4名もの障がい者を受け入れていただいたヘイコーバック(株)には大変なご苦勞をおかけした。

また、里親的な制度をもってグループホームの運営を継続していくのは、担当職員が孤独な献身的努力を前提に設計されたものだった。グループホームの世話人(職員)は独身者が引退した高齢者が担うことが多かったのもそういう現状のためだ。いまもって、当時の担当職員の孤軍奮闘ぶりには頭が下がるおもいだである。こうして生まれたグループホームもいまや8か所を数える。それぞれ大変な家庭事情の中で、生まれ育った生活の場・地域から離れ、緊急一時的避難場所として対応しつつ永住の地になってきたという結果が今である。

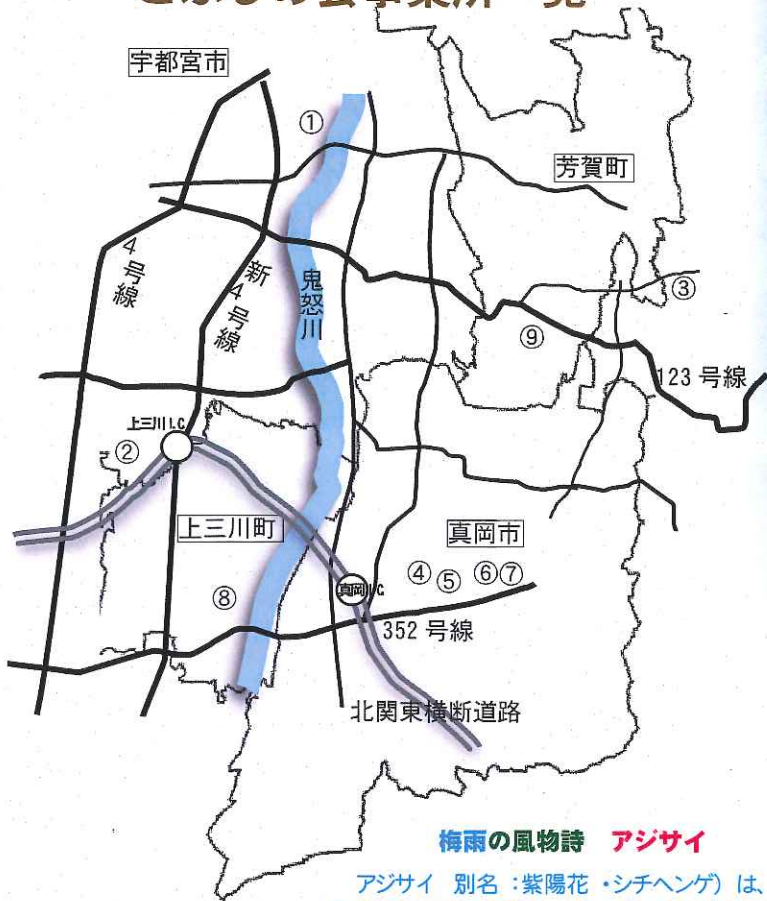
GHの運営は厳しすぎる。でも、やるしかない。

人間が居住する場を持たなかったらどう

「すずらんの家」から始まったこぶしの会GH

福祉はいつもせっぱつまって待ったなしの解決せねばならない課題である。限界はあるにしても、現実対応できる可能な限り

こぶしの会事業所一覧



梅雨の風物詩 アジサイ

アジサイ 別名：紫陽花・シチヘンゲ) は、6月から7月にかけて開花し、白・青・紫または赤色の萼がくがくが大きい発達した装飾花をもちます。アジサイは土壌のpH(酸性度)によって花の色が変わり一般的には、酸性ならば青、アルカリ性ならば赤になると言われています。アジサイの名前の由来は、藍色の花が集まるという意味の「あづさい 集真藍)」が変化したものと言われています。あまり知られていないのですが、アジサイは有毒植物であるため、園芸や切り花として利用する際には取り扱いに注意が必要です。その葉は光沢のある淡緑色で見た目が美しいことから、料理に添えられることもあるようですが、嘔吐やめまいなどの中毒症状が出るため、決して食べてはいけません。

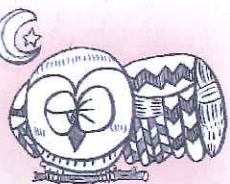
アジサイ：素敵な意味の花言葉

①元気な女性、②辛抱強い愛情、③一家団楽、家族の結びつき

アジサイ：悲しい意味の花言葉

①移り気・浮気・変節、②あなたは美しいが冷淡だ、③高慢・無情

- ① 宇都宮市柳田町 1401
 こぶしの会法人本部
 028-613-3707 (F) 028-666-6128
 028-666-0418 (居住生活支援事業部)
 第2 けやき作業所
 028-680-5937 (F) 028-680-5938
- ② 宇都宮市茂原町 837-1
 こぶし作業所
 028-653-1020 (F) 028-688-1121
 障がい者生活支援センターこぶし
 028-613-5703
- ③ 芳賀郡芳賀町祖母井 2244
 けやき作業所
 028-687-1040 (F) 028-677-5789
 地域活動支援センター「ほっとCHA」
 090-7820-9165
- ④ 真岡市亀山 1043-23
 セルフ・みらい
 0285-81-1155 (F) 0285-81-1177
- ⑤ 真岡市荒町 3-9-5
 県東ライフサポートセンター真岡
 0285-83-2567 (F) 0285-85-8055
 お菓子工房 ピケ
 0285-81-7091 (F) 0285-81-7092
- ⑥ 真岡市荒町 111-1
 県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」
 0285-85-8451 (F) 0285-85-8452
- ⑦ 真岡市荒町 110-1 市総合福祉保健センター内
 芳賀地区障害児者相談支援センター
 0285-80-7765 (F) 0285-80-7765
- ⑧ 河内郡上三川町大字上三川 5082-15
 上三川ふれあいの家ひまわり
 0285-38-6821 (F) 0285-38-6841
 上三川町障がい児・者生活相談支援センター
 0285-38-6854
 アトリエ・ド・バン シュシュ
 0285-56-7731 (F) 0285-56-7732
- ⑨ 芳賀郡芳賀町西水沼 438-2
 おらがそば茶屋
 028-680-5091 (F) 028-680-5092



ほしぶ
くろう

知恵袋：文●星宮有子

【編集後記】

♥ 鬼怒川大渡りのヤナ(船場亭)に行ってきました。ここでは、川のせせらぎを聞きながら炭火焼の美味しいアユが食べられます。生簀を覗くと生きたウナギが見られます。(驚き)宇都宮から少し遠いですが、良いリフレッシュになる場所です。(渡辺)

♣ 昨年からは宿直に入り、今年度からはセルフみらいの送迎を行なうようにもなって、必然的に本来の所属先以外のメンバーさんと関わることも多くなった。県東真岡とはまた違った雰囲気、個性を持っている面々と接していると、今までにない気づきや面白さを感じられたような気がする。これもまた勉強なのかなと、たまにはマジメなことも書いてみた次第であるw(松本)

第であるw(松本)

◆ 多肉人間が多肉植物を買ってみました。水やりは1ヶ月に1~2回と、ズボラにはうってつけの植物です。新芽も出てきてこれからの成長が楽しみです。「育てる」ってわくわくしますね(ー)(星宮)

♠ こぶしだよりに携わって1年が経ちました。今年度も第2 けやきのこぶしだより担当となりました。昨年度よりも良い記事をかけるよう頑張りますのでよろしくお願ひ致します。(北川)

● 余談です。キジという鳥がいます。桃太郎に出てくるあのキジです。鳴き声を文字にす

ると「ケン ケン」というのでケンという名前の私は、日本の国鳥で食べても美味しい(らしい)このキジという鳥に親しみを感じていました。振り返ると、入職2年目の仕事はパンの生地作りでした。そして現在はこぶしだよりの記事を書いています。そして締め切りの期日に追われています。あ〜キジになって飛んで行ってしまいたい(牧岡)

■ 大人の部活をはじめました。結果を残すことも大切ですが、そのためにはいま何をしなければいけないのかを考え、工夫しながらやってみることが大切で、仕事と同じだなと実感。(菊地)